

売れる！お店づくり<第3回>

～デザイン業者・内装業者の選び方～

コンサルティングオフィス STAYDREAM

代表 原島 純一 (中小企業診断士)

はじめに

前回の出店地域と物件選びのお話は、いかがでしたでしょうか？
気に入った物件が見つかり、いよいよ工事となりますが、「どの業者さんに頼んだらよいのだろうか？」と悩まれると思います。

そこで今回は「デザイン業者・内装業者の選び方」についてご紹介します。

Step1 業者打合せの下準備

① お店のコンセプトの再確認

業者との打合せでは、「どのようなお客様が利用される予定ですか？」
「男性と女性の比率はどれくらいの予定ですか？」
「どのようなイメージのお店をお考えですか？」など、様々な質問を受けることとなります。

質問にきちんと答えられないと、業者は、皆さんがどのようなデザインを望んでいるかつかめず、皆さんのイメージと異なった提案を繰り返すことになってしまい、無駄な時間やコストがかかってしまいます。

そうならないように、お店のテーマや大まかなイメージなどコンセプトを再確認して、自分のイメージを業者にきちんと伝えられるようにしておきましょう。



② 写真や雑誌などを用意

皆さんが自分のイメージを言葉でしっかり伝えつつも、それを聞いた業者が同じものをイメージできているとは限りません。

そこで、自分のイメージに近い店舗の写真や雑誌の切り抜きなどを用意しておくことで、業者との行き違いがなくなり、自分のイメージをより確実に伝えることができます。



③ 予算を明確にしておく

デザイン・内装に使える予算は決まっていると思いますが、業者との打合せを重ねていくうちに、当初予算をオーバーしてしまうことがよくあります。



予算 1,000 万円の場合は、「予算は 1,000 万円ですので、その範囲で見積もりをお願いします」と業者にしっかり伝えておきます。どうしても必要な場合に追加できる金額があるときは「追加は 200 万円まで」と自分の中でしっかりと決めておくと、予算を大幅にオーバーすることを避けられます。

また、支払い方法や時期などの希望も明確に伝えておきます。銀行から融資を受けてから支払うつもりであれば、「融資が決まるのが〇月〇日頃なので、その時期にお支払いしたい」と伝えておきましょう。

④ デザイン業者と内装業者の特徴を理解する

飲食店の工事を行う場合、大きく分けて、i) 店舗デザインを含めて内装業者が行う方法、ii) 店舗デザインはデザイン業者が行い、内装工事は内装業者が行う方法、の 2 種類があります。

あくまで一般論ですが、それぞれのメリット・デメリットは次のとおりです。

以前飲食店として利用されていた「居抜き物件」で開業される場合は元のデザインを活かすこととなりますので、内装業者に全てお願い

する方法でよいかと思います。

	メリット	デメリット
i) 内装業者 ↓ 店舗デザイン 内装工事	○施工面や機能性を考えた店舗デザインにしてくれる。	○無難な店舗デザインになってしまう可能性が高い。
	○全てを任せているので、責任の所在が明確になる。	○他業者の監視の目がないので、価格面や施工面での手抜きや不正を把握しづらい。
	○複数の業者との打合せや調整が不要で、手間がかからない。	
ii) デザイン業者 ↓ 店舗デザイン 内装業者 ↓ 内装工事	○デザイン業者から洗練された店舗デザインの提案を受けることができる。	○デザイン性が優先され、施工面や機能面に問題が生じることがある。
	○デザイン業者と内装工事業者が互いに監視し合うため、価格面や施工面での手抜きや不正が少なくなる。	○トラブルが生じた際、双方の業者が相手に責任を押しつけ、責任の所在が不明確になる。
		○両方の業者との打合せや調整が必要になり、手間がかかる。

Step2 業者の探し方

① 友人・知人に紹介してもらう

まずは、既にお店を開業されている友人・知人から実際に利用した業者を紹介してもらう方法です。

紹介する人は、問題のある業者であれば他人に紹介しませんので、紹介された業者は信頼できるといえます。

また、紹介された業者も紹介者の顔を立てる意味でもしっかりと対応をしてくれます。

一方、デメリットとしては紹介してもらっているので、業者に何か不満があった場合でもあまり強く言うことができず、我慢してしまうという点があげられます。業者に不満がある場合は、紹介者に相談して、上手く協力してもらいながら業者に改善を促すという工夫が必要になります。

② 気に入ったお店に紹介してもらう

次は、過去に自分が利用して気に入ったデザインのお店があれば、そのお店の人から業者を紹介してもらうという方法です。



この方法はそれなりの勇気と図々しさが必要となりますが、デザインは、どうしてもセンスが合う・合わないがありますので、自分のセンスに合う業者に依頼したほうが自分のイメージどおりのお店ができる可能性が高まりますし、①と同様に紹介者がいますので、業者の信頼度は高いといえます。

③ インターネットや業界誌などで調べる

上記①②の方法でよい業者を見つけられない場合は、インターネットの検索サイトで「飲食店」「内装業者」などのキーワードで検索したり、飲食業界雑誌の広告欄をチェックすることで多くの業者を見つけることができます。

Step3 業者の選び方

① 必ず3社以上の見積もりを取る

業者を紹介してもらった場合であっても、なるべく他に2社以上の見積もりを取るようにしましょう。

複数の見積書を比較することで、紹介された業者の見積金額が妥当であるかの判断材料が増え、他社の意見を聞くことで新たなことに気づくこともあります。また複数の業者と打合せすることで、各社の親切度合いや対応の早さなどもわかるようになってきます。



この段階で、金額が極端に高い、対応が不親切、見積書の提出が遅い業者は選択肢から外していきましょう。

② 見積書に詳細な記載がない業者はダメ

見積書によっては「どの場所に、何を、いくら（数量）、どうするの

で、〇〇円かかる」のか、詳細な記載がないものがあります。詳細な内容がわからないと、工事を始めた後で、「それは契約に含まれていませんので別料金です」と言われかねませんので、このような業者も選択肢から外した方が無難でしょう。



③ 飲食店の工事実績を確認する

飲食店は、従業員が厨房でもホールでもかなり動き回りますので、作業効率を考えた動線の設計が重要になります。飲食店の工事実績がない業者ですと、飲食店の特性を考慮せず設計してしまうおそれがありますので、業種特性を熟知している業者を選ぶことがポイントです。

④ 細かい質問に対応してくれ、提案力のある担当者がいる

最後は、信頼できる提案力のある担当者がいるかどうかです。見積書の内容や工事内容について細かい質問をしても、きちんと対応してくれたり、皆さんが悩んでいることについて複数の解決策を提示してくれるような、担当者がある業者を選ぶとよいでしょう。

おわりに

最初のお店ということではわからないことがたくさんあると思いますが、素人っぽくて恥ずかしい、などとは考えずに、わからないことは図々しく、どんどん質問してほしいと思います。

それらの質問をすることで、自分の考えを押しつけてくる業者なのか、皆さんの立場を尊重してくれるよい業者なのかを見極めることができると思います。



原島 純一（はらしま じゅんいち）

飲食店専門の中小企業診断士。中小企業や個人事業主を対象とした「飲食店コンサルタント」として活躍中。専門家派遣・セミナー講師実績多数。飲食店に11年間勤務した経験とコーチングのスキルを活かして飲食店の支援を行っている。